



### 新年 明けましておめでとうございます

新しい年を迎えました。年末年始、ご家族でゆっくり楽しく過ごされましたでしょうか。遠くにお出かけをしたり、大勢が集まったりと、子どもたちも日常とは違う体験をされたことでしょうか。保育園でも生活リズムを整えながら、この季節ならではの遊びを楽しんで新年を喜びあいたいと思います。

12月は、例年になく雪が降ったり寒い日が続きましたが、どんなに寒い日でも園庭から子どもたちの賑やかな声が聞こえてきます。マラソンを行い保育園の近所を何周も走っています。保育園の前に戻ってくるたびに、ジャンパーを脱ぎ捨て「暑い！」と半袖になって走り去っていく子どもたち（と保育士）。持久走というよりもずっと全速力の子どもたちの逞しさに驚かされます。

保育園は5年目を迎えます。一人ひとりを大切に、クラスという集団を大切に、子どもを真ん中に大人がどう環境（時間 空間 仲間）をつくっていくか、職員一同喜び合いながら保育を進めていきたいと思ひます

**向** 2024年、どんな一年が待っているでしょうか。どんなことがあっても自分と、子どもたちと、そして仲間たちと向き合って 笑ったり、考えたり 悩んだりより良い先に向かっていけるように 精進していきたいと思ひます。  
今年もどうぞよろしくお願ひいたします。 園長 赤星 佐保

#### 行事予定

- 1月
  - 5日(金) 七草がゆ
  - 17日(水) 子育てサークル
  - 25日(木) 誕生会・避難訓練・身体測定
  - 27日(土) 親子観劇会(2~5歳児クラス)

- 3月
  - 9日(土) 卒園式(4・5歳児クラス)
  - 15日(金) お別れ遠足(3・4・5歳児クラス)

#### ♪うた・なかよしの歌♪

●木村次郎/作詞 ●丸山亜季/作曲

ブーチューチン ブーチューチン  
ブーチューチン えい!  
ぼくらは げんきな こどもだよ  
けんかもするけど なかなかおりも はやい  
ブーチューチンブーチューチン  
あっはっはっはっはっ はっ  
ぼくらは あかるい こどもだよ  
いざというときゃ ちからを えい あわせる

### ～おやこ観劇会 クラス懇談会のお誘い～

**1月27日(土)午前中**

2歳児～5歳児クラス  
劇団さんぽ『オオカミ君のパン』

作・演出 長島 宏

オオカミは本当に悪者なの？  
昔話に出てくるオオカミは、強く、する賢く、意地悪・・・  
それは人間の勝手な思い込みです。  
オオカミだっていろいろなのが良い。  
豊かな個性が、優しさや本当の強さ、  
生きる力を生み出します。

『みんな違っていいんだよ。  
違うから、1人1人の命が素晴らしい』  
こんな時だからこそ、  
違いを乗り越え繋がっていく！

**生の舞台に触れ創造の世界を  
親子で楽しみましょう！**

※4.5歳クラスは懇談会を前の時間に行いますので、ご参加ください。詳細は後日改めてお手紙を配布致します。

2,3歳児は懇談会はありません。

#### 心 M

何事にも心にゆとりを持って取り組み、子ども達と一緒に心がわくわくするような保育ができるように、頑張ります！

#### 彩 R

子どもの個性を尊重し、皆の笑顔が輝くような保育をしていきます！

#### 平 K

どんな時も自分らしく、ゆったりと平坦な気持ちで頑張っていけたらいいな～と思ひます！

#### 愛 給食

いつも愛情を込めて美味しい給食を作るように頑張っています。皆の成長を願っています。

#### 安 A

保育園は安心できる場所、保育者は安心できる人。安心して子ども達が自分をおもいきり表現できる、人・場所でありたいです。

#### 愉 T

子どもたちに負けないくらい明るく元気に全力で！楽しい1年にしていきます。

## 2024年 漢字で抱負

今年もよろしく  
お願ひします

#### 楽 H

楽しく遊んで、楽しく食べて、子どもたちと笑顔いっぱい！楽しく過ごしたいと思ひます。

#### 笑 R

“笑う門には福来る”  
毎日明るく、楽しく笑顔たくさん！  
子どもも大人も笑顔で過ごしていきたいです。

#### 喜 H

子どもたちの『出来た』『おいしい』『楽しい』『好き』の幸せな気持ちを一緒に喜んでいきたいです！

#### 素 A

子どもたちがありのままの姿で毎日の園生活を楽しめるように様々な感動と一緒に経験していきたいです。

#### 共 A

今までもこれからも“みんなで”を大切に。保育士も子どもも同じ立場で共に経験し共感しあっていたいです。

#### 健 R

自分自身もクラス全体も健康な体作りを目指し、1年間元気いっぱいに楽しく過ごしていきたいと思ひます。

#### 添 A

なぜそうなのか、どういう思いだったのか、一人ひとりの心の中を考え、子どもの気持ちに寄り添えるようにします。

#### 輪 Y

保育士が手を繋ぎ、大きなその輪の中に子どもたちを置いて、一人一人の子どもたちをみんなで考え、子どもを真ん中に・・・